

フタ付き小物入れ(90×90×H55mm)

アクセサリー入れにピッタリサイズ♪ とても人気の高いフタ付き小物入れです。一般ワークショップでは「中級2コース」にあたります。「小物入れ(ラウンド/φ130×H40mm)」を制作した後、次に作ってみたい候補ナンバーワンに挙げられる作品です。編み上げた後、角を縦方向に直角に折り曲げるだけでたちまちラウンドからスクエアに切り替わるのはシンプルなことですがとても新鮮です。フタの高さは1マスなので目を詰めながら制作する訓練にもなる作品です。



【完成サイズ】: 約 90×90×H55mm
 【面取り作業】: 必須
 【なめし作業】: 必須
 【制作時間】: 約 3 時間
 【動画視聴】: あり

【スペック】

□ベルト(本体: 約 W15×L500mm×12 本
 フタ: 約 W17×L300mm×4 本、約 W15×L300mm×8 本)
 □予備ベルト
 □レシピ(本紙)

【必要な工具】

< 必須工具 >

□ラスタ □木製ピンチ □ハサミ □定規 □鉛筆
 □なめし道具(オリーブオイル、タオル、小皿)

< 状況により必要となる工具 >

□カッター □輪ゴム
 □ポンド(セメダイン社スーパーXゴールド(XG) <推奨>)

【動画視聴方法】

YouTube を視聴できる最新のブラウザ、オペレーティング システム、良好なインターネット接続が必要です。PC 操作方法や動画操作手順はサポート外ですので、お身内やご友人などお分かりになる方にお聞きください。
 ※最新バージョンの Google Chrome、Firefox、MS Edge、Safari、Opera
 ※500 Kbps 以上のインターネット接続システム要件

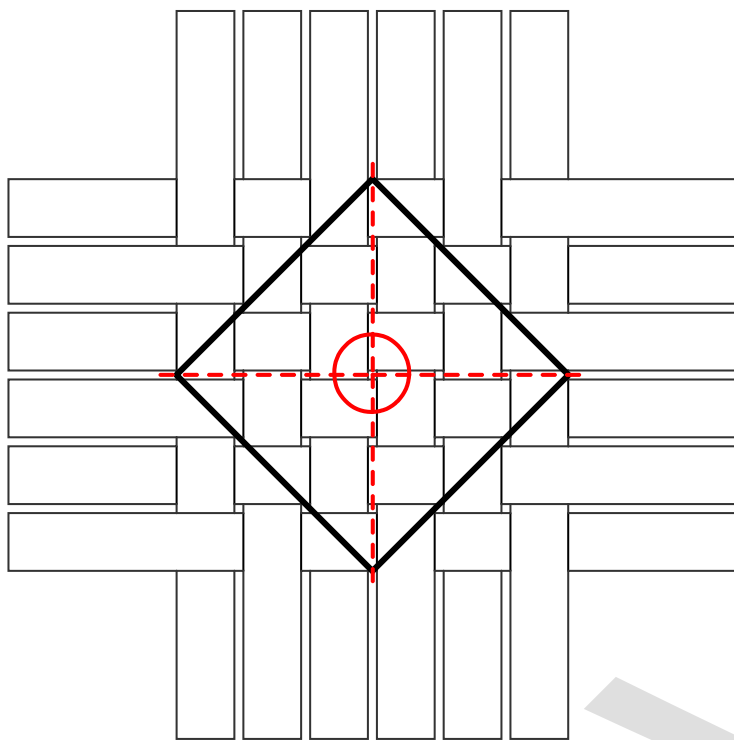


タブレットやノート PC などの環境で閲覧いただくのが一番オススメですが、それほど古くない普通のスマホ(らくらくフォンなど制限のあるものは除く)をお持ちであればほとんど問題ないと思われます。ただ画面が小さいのでわかりにくい箇所もあるかもしれません。
 ※動画 URL を一般に公開することを固く禁じます。
 ※休会・退会された場合は、視聴することができなくなります。

【制作前に一読ください】

- 本紙を参照しつつ、**動画解説に主軸を置いて進めていきます。**
 また、講座修了者を対象としているので、基本的な工程は解説を省略していることがあります。
- 制作前には、「**スペック**」や「**必要な工具**」が揃っているか確認ください。
- 本作品は、「**かご型**」に属します。
 以下に大別される手順にしたがって作業を進め、完成を目指しましょう！
「井桁状に並べる ⇒ 編み上げる ⇒ フチで折り返す ⇒ 始末する」

1. 井桁状に並べる



図①

1-1. 外皮側(赤印)に鉛筆で中央に印をつけ、長いベルト順に図①のように井桁状に並べ、すき間を寄せます。

1-2. 図①の太線に沿って定規をあて、手前に折り曲げます。

2. 編み上げる

2-1. いずれかの角より、外皮側を見ながら編み始めます。

2-2. 1角終わったら、1マスが正方形になるようにすき間を寄せて、2角目を編み進めます。

2-3. 以降、同じ作業を繰り返して、ゆがみなく立ち上げます。

3. フチで折り返す

3-1. 1マスの対角線を「1」とすると「3」つ目の高さの外周に鉛筆で線を書き入れます。

3-2. 鉛筆で線を描いたベルトを1本、鉛筆で線を付けたマスまでほどき、線通りに折り曲げ、側面のすき間に1マスだけ差し込み、同じ作業を1周行います。

3-3. 未処理の残り半分のベルトを1本ずつフチで折り返し、2マスまで差し進めます。

3-4. 3-2. で差し込んだ方向のベルトをさらにもう1マスずつ差し進めます。

3-5. 3-3. で差し込んだ方向のベルトをさらにもう1マスずつ差し進めます。

3-6. フチの凹凸や側面の隙間や浮きを修正します。

4. 始末する

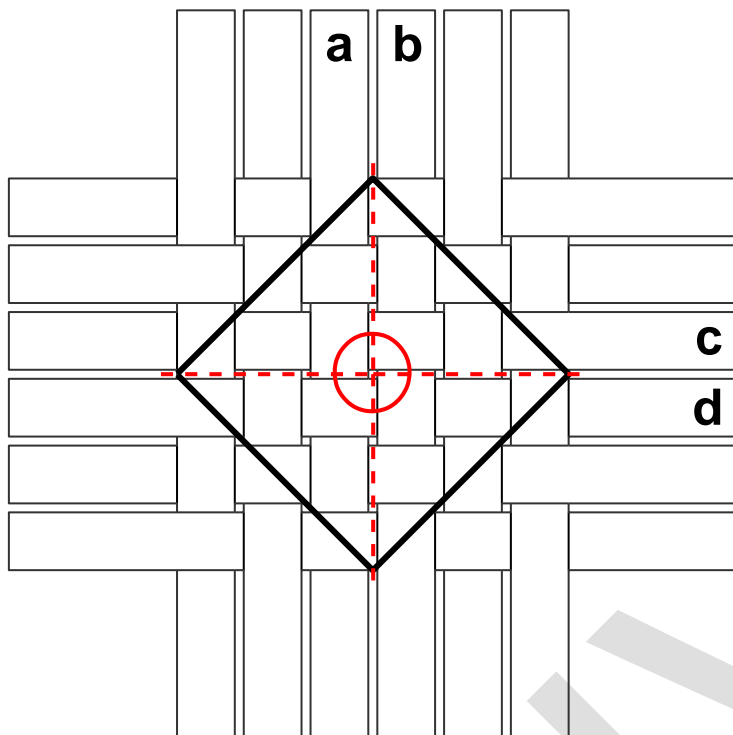
4-1. 底部に向かって、4つ角を通過する8本のベルトを差し進めていき始末します。
※ベルトの長さが足りない部分は予備ベルトで外皮面が隠れるように足します。

4-2. 4つ角で出会うベルトを始末します。

4-3. 外から2列目で出会うベルトを始末して本体が完成！

続いて、同じ手順で「フタ部」を制作します。

5. 井桁状に並べる



図②

5-1. 外皮側(赤印)に鉛筆で中央に印をつけ、図②のように a、b、c、d のベルト幅 17mm×4 本を最初に井桁状に組み、残りのベルトを図②のようになるよう 1 本ずつ外側に足していき、すき間を寄せます。

5-2. 図②の太線に沿って定規をあて、手前に折り曲げます。

6. 編み上げる

6-1. いずれかの角より、外皮側を見ながら編み始めます。

6-2. 1 角終わったら、1 マスが正方形になるようにすき間を寄せて、2 角目を編み進めます。

6-3. 以降、同じ作業を繰り返して、ゆがみなく立ち上げます。

7. フチで折り返す

7-1. 1 マスの対角線を「1」とすると「1」つ目の高さの外周に鉛筆で線を書き入れます。

7-2. 鉛筆で線を描いたベルトを 1 本、鉛筆で線を付けたマスまでほどき、線通りに折り曲げ、側面のすき間に 1 マスだけ差し込み、同じ作業を 1 周行います。

7-3. 未処理の残り半分のベルトを 1 本ずつフチで折り返し、1 マス差し進めます。

7-4. フチの凹凸や側面の隙間や浮きを修正します。

8. 始末する

8-1. 底部に向かって、4 つ角を通過する 8 本のベルトを差し進めていき始末します。
※ベルトの長さが足りない部分は予備ベルトで外皮面が隠れるように足します。

8-2. 4 つ角で出会うベルトを始末します。

8-3. 外から 2 列目で出会うベルトを始末して本体が完成！